

まちづくり ニュース

2020年7月発行

まちづくりの方針の
検討が進んでいます

東葛西八丁目地区まちづくり協議会は、令和元年6月に設立し、これまで5回にわたり、地区の課題や良い点の整理、課題の解決策やまちづくりの方向性を検討してきました。

令和2年2月に開催された第4回協議会では、まちづくりの事例として「中葛西八丁目地区」を視察しました。さらに、7月に開催された第5回協議会では、これまでの検討や事例視察を踏まえ、当地区のまちづくりの方針について検討しました。

▼第5回まちづくり協議会の様子



お問い合わせ

- このお知らせは、東葛西八丁目1番～12番の一部にお住まいまたは営業している方、土地・建物をお持ちの方にお配りしています。

まちづくりについてのご意見やご質問がございましたら、下記の問い合わせ先まで、お気軽にお電話ください。

当地区のこれまでのまちづくりは、江戸川区のホームページをご覧ください。

東葛西八丁目地区 まちづくり 検索



江戸川区 都市開発部 まちづくり調整課 まちづくり計画係
TEL : 03-5662-6438 FAX : 03-5607-2267

まちづくり協議会での議論の状況

第4回

まちづくりの事例として「中葛西八丁目地区」を視察しました。

第4回協議会では、まちづくりの事例として「中葛西八丁目地区」を視察し、密集事業によって整備された道路や防災機能を有した公園などのまちづくりの成果を確認しました。

視察地区の概要



路線③

幅員 : 整備前 約 1.8m⇒整備後 6m
長さ : 全長 306m

<整備前>



<整備後>



中葛西おひさま公園

整備面積 : 1,592.03 m²

<整備前>



<整備後>



当日に挙がった意見

■中葛西八丁目地区の印象

- 以前と比べると明るく住み良い町になった。
- 細い道が、車がすれ違える広い道路になっていて驚いた。
- 道幅も広く、防災に特化した公園の整備も素晴らしい。



■当地区で活用できそうなところ、取り組みたいこと

- 狭い道幅が6mになり、人も車も安全で安心して通行できる明るい町にしたい。また、勾配のきつい坂道は緩やかにし、自転車や高齢者にやさしい町にしたい。
- 子どもの遊び場、高齢者の休憩所、震災などの時に活用できる公園をつくりたい。



第5回

課題解決のためのまちづくりの方針を検討しました。

第5回協議会では、これまでの検討や第4回協議会での事例視察を踏まえ、地区の安全性や防災性を向上させるためのまちづくりの方針について検討を行いました。

検討内容

<意見>

- 行き止まりのため避難時に人が通り抜けられるようになるとうい。

<検討案>

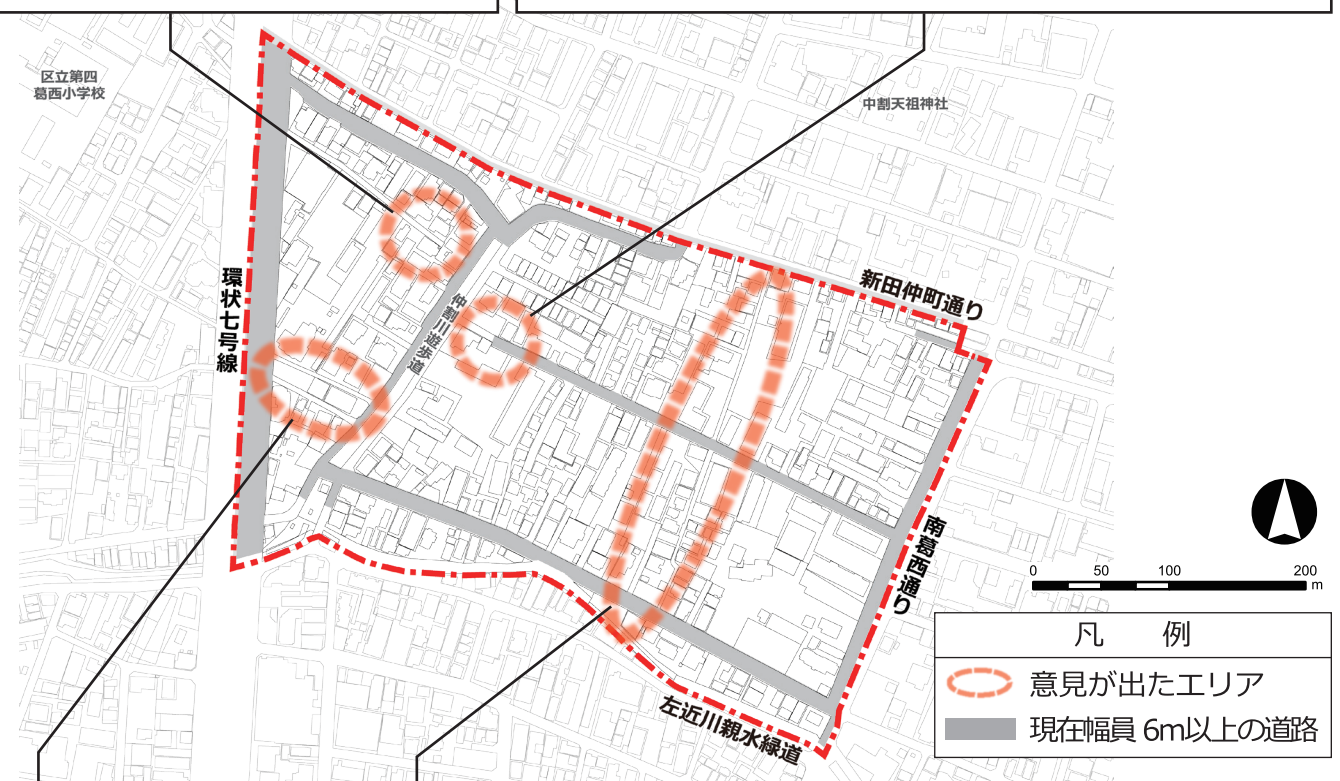
- 避難時に人の通り抜けを可能にすることで防災性が向上する。

<意見>

- 隅切りの確保と、途中でなくなる歩道の整備が課題。
- 安全性向上のため、勾配を緩くする等の対策が必要。

<検討案>

- 歩道の整備や仲割川遊歩道に抜ける部分の見通しをよくすることで交通の安全性が向上する。



<意見>

- 交通量が多く道路幅員も狭い。

<検討案>

- 環状七号線に接続する幅員の広い道路を整備することで地区の利便性が向上する。

<意見>

- 道路幅員が狭く、緊急車両が入れず、見通しも悪い。
- 唯一南北に通って抜けていてバス通りにも接続しているため、優先的に整備できるとよい。

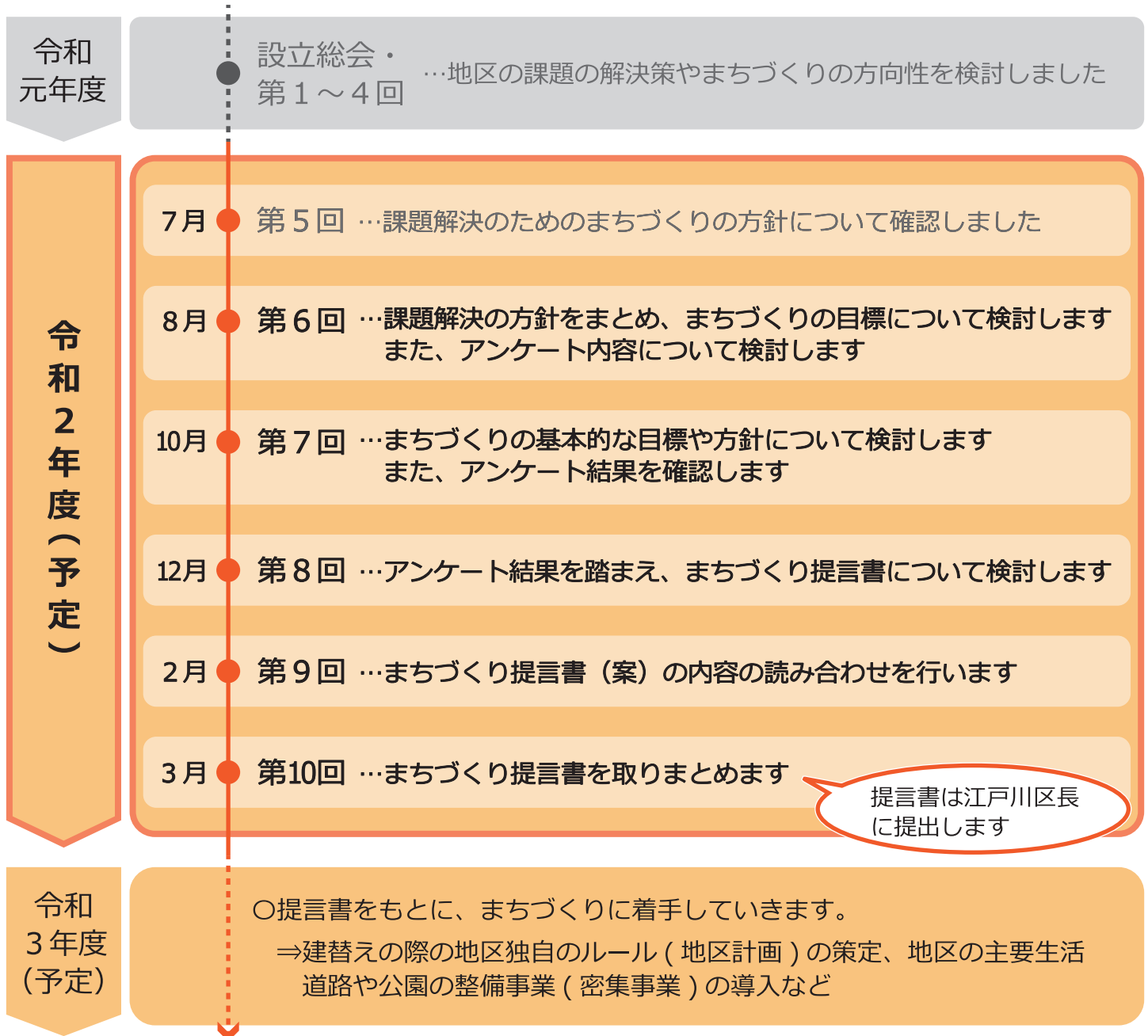
<検討案>

- 緊急車両が進出でき、円滑に消防活動ができる幅員の広い道路を整備することで防災性が向上する。
- 地区を南北に通る道路を幅員の広い道路に整備することで、車のすれ違いができるなど地区の利便性が向上する。

今後の流れ（予定）

令和2年度は、全6回の協議会開催を予定しています。また、令和3年3月には、これまでの検討や8月下旬に実施を予定しているまちづくりに関するアンケート調査の結果を踏まえて「まちづくり提言書」を取りまとめ、江戸川区長へ提出する予定です。

区は、「まちづくり提言書」をもとに、令和3年度よりまちづくりに着手していきます。



8月下旬にアンケート調査を実施します！

協議会ではこれまで、まちの課題に対する解決方針などを検討してきました。

今後、まちづくりに対する意見をまとめていくため、8月下旬にまちづくりニュース第5号の発行と同時にアンケート調査を実施する予定です。

より良いまちづくりを行っていくため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。